

- 本製品は、ケーシングタイプ薄壁用は壁厚(111~141mm)、厚壁用は壁厚(142~182mm)、ノンケーシングタイプNC156は壁厚(116~130mm)、NC171は壁厚(131~145mm)、NC180は壁厚(146~160mm)に取付けられます。

■施工される方へのお願い

- 本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の障害、軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

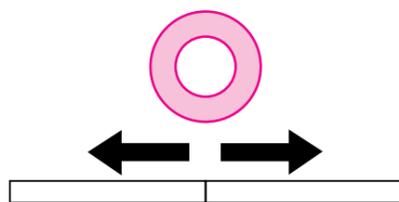
▲注意

- 上レールは仮固定ですので、必ず指定のねじで躯体へ固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 吊車は指定のねじで締め付け、ガタツキのないように固定してください。本体が脱落するおそれがあります。
- 本体へはもたれ掛からないようにしてください。本体がはずれ、転倒しけがの原因になります。
- 本体は把手をもって操作してください。本体と枠のすき間や、本体間のすき間で手や指をはさみケガをするおそれがあります。
- 枠固定金具の調整範囲(調整幅7mm)を超える開口部については必ず柱・間柱・まぐさを入れ調整範囲を満たすようにしてください。枠・本体が脱落するおそれがあります。
- 枠固定金具が柱に固定されていることを確認してください。固定ねじの締め忘れは枠・本体の脱落の原因になります。

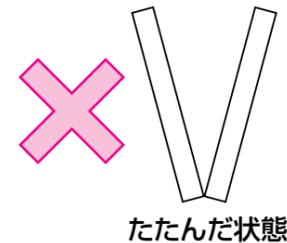
■本体の開閉操作上のお願い

1 本体の開閉方法

- 本体の開閉は右図のように本体をフラットな状態で移動させてください。



※扉をたたんだ状態では、移動させないでください。動きがギクシャクしたり、ガイドピボットの走行に支障がでたりします。



たたんだ状態

2 ストッパーの使用方法

- 扉がフラットな状態で任意の位置でつまみを下げると、ロックがかかり本体が開かなくなります。

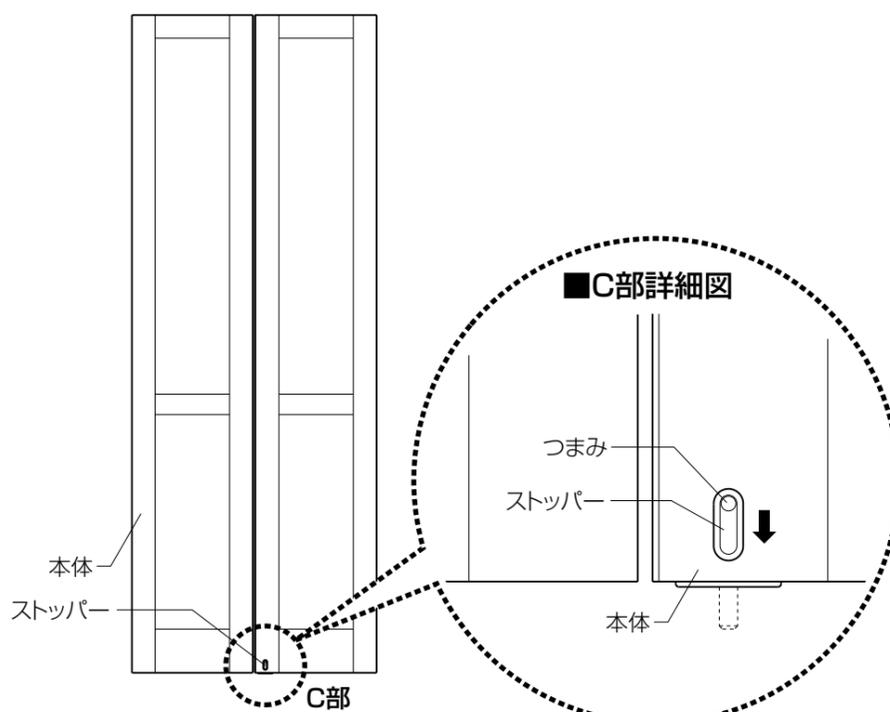
※ストッパーは簡易固定用です。ぶつかったりすると本体が開くことがあります。

▲注意

- 本体に寄りかからないでください。無理な力が加わると、本体が枠から外れやすくなり、ケガや故障の原因になります。

お願い

- ※扉を閉めた時は、ストッパーでロックしてください。ロックしないと、強風などで扉が開くことがあります。



■施工上のお願い

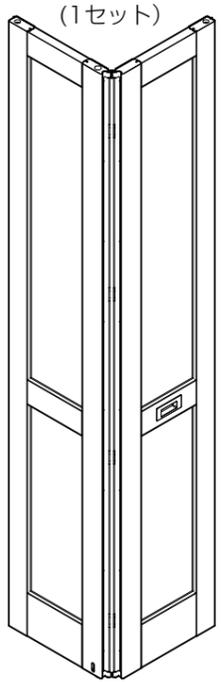
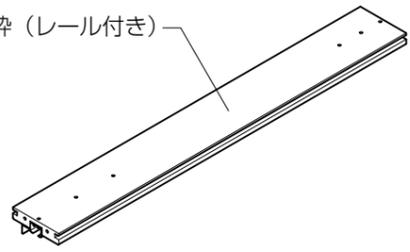
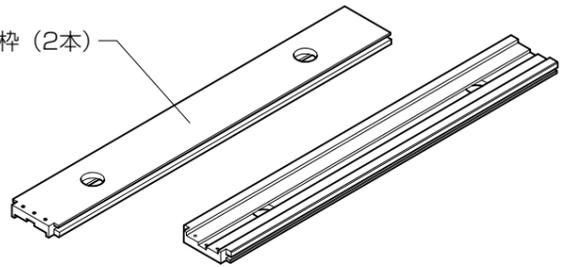
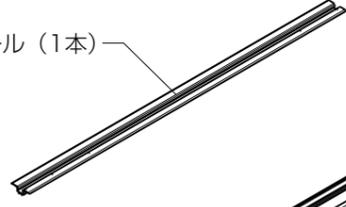
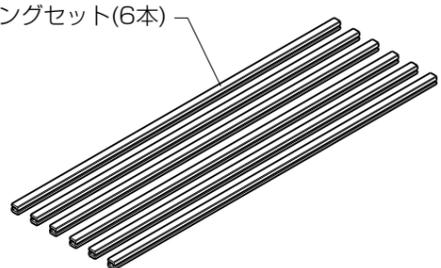
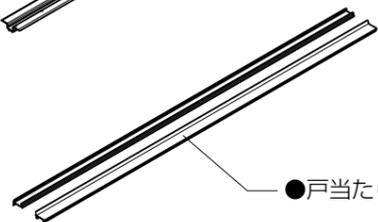
- 本製品は上吊り方式のため、梁又はまぐさで重量を受けます。必ず本体重量に耐える断面寸法の梁又はまぐさをご使用ください。

間口	本体重量	梁・まぐさの断面寸法(幅×高さ)
6尺	50Kg	105mm×180mm以上
9尺	75Kg	105mm×300mm以上
12尺	100Kg	105mm×360mm以上

- 必ず指定のねじ(同梱)で組立て・施工してください。他のねじを使用すると、部品・部材の脱落や垂下がり・ゆがみなどの原因となります。(本説明書内で「現場手配」と記されている場合は除きます。)
- 造作材・建具枠の下地材には、必ず乾燥材(含水率20%以下)を使用してください。湿潤材は使用しないでください。
- 壁内の通気が悪く、内部結露が発生するおそれがある場合は、防水処理をしてから施工してください。
- 枠組立て後は、ねじれ・引張りなど無理な力を加えないでください。破損の原因になります。
- 造作材・建具枠を取り付ける際は、必ず接着剤を併用してください。かい木を使用する場合は、かい木の両面に接着剤を塗布してください。
- 上枠とまぐさのすき間は、必ずかい木を入れてください。
- かい木は、合板等の乾燥材を使用し、湿潤材は使用しないでください。
- 造作材・建具枠をコンクリートやモルタル(床面)に直付けしないでください。やむを得ず直付けする場合は、造作材・建具枠木口と床面の間に、必ず防水処理をしてください。
- 枠を取付ける際、水準器・下げ振り等で水平・垂直を確認してください。
- 建具枠と柱・間柱・まぐさとの間には必ずすき間をつくって納めてください。
- 縦枠と柱・間柱とのすき間は、枠固定金具を調整して内装ボードを必ず縦枠に突きあててください。突きあてができない場合は、かい木を入れてください。
- 本製品のねじ締付け時には、クラッチ付きのドライバーを使用してください。締付けトルクが強すぎると、ねじが空転したり、ねじの頭がとんだり、つぶれる場合があります。
- 下レールは、補強材が入っていることを確認してから取付けてください。
- ガイドピボットは、必ず樹脂部に当て木をして押込んでください。ガイドピボットの破損・変形により、開閉に支障が出るおそれがあります。
- ジョイントレールを取り付ける際は、ジョイント部に段差が出ないように注意してください。吊車破損の原因になります。
- ストッパーは簡易固定用です。ぶつかったりすると、本体が開くことがあります。
- 現場で使う接着剤は、「F★★★★」又はノンホルムタイプを使用してください。

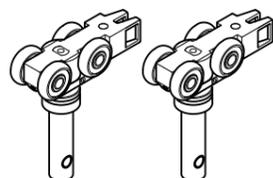
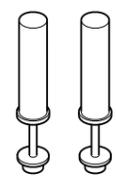
■部品・部材の明細

- 部材の明細 ※本体・枠セット・ケーシングセット(ケーシング付きタイプ)は別梱包です。

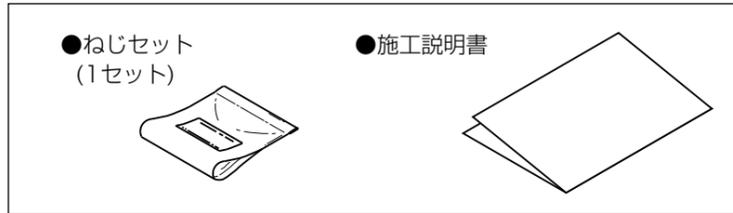
折れ戸本体	折れ戸用枠	
 <p>(1セット)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●上枠(レール付き) 	<ul style="list-style-type: none"> ●縦枠(2本) 
	<ul style="list-style-type: none"> ●下レール(1本) 	<p>ケーシングセット(ケーシングタイプのみ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ケーシングセット(6本) 
	<ul style="list-style-type: none"> ●戸当たり(2本) 	

■本体用部品<本体同梱>

- ※上ローラー取付けねじは、本体同梱のねじセットに入っています。

<ul style="list-style-type: none"> ●吊車(2個) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ガイドピボット(2個) 	<ul style="list-style-type: none"> ●ねじセット(1セット)  <p>※吊車取付用</p>
---	--	---

■ 枠用部品<枠同梱>



〔枠用ねじセット明細〕

	W16	W24 W25	W34
組立てねじ 皿小ねじ M4×50	4本	4本	4本
上枠取付け用 トラストタッピンねじ φ4×60	※10本	※12本	※15本
縦枠取付け用 ナベタッピンねじ φ4×40	6本	6本	6本
下レール固定用 皿タッピンねじ φ3.5×20	5本	7本	9本

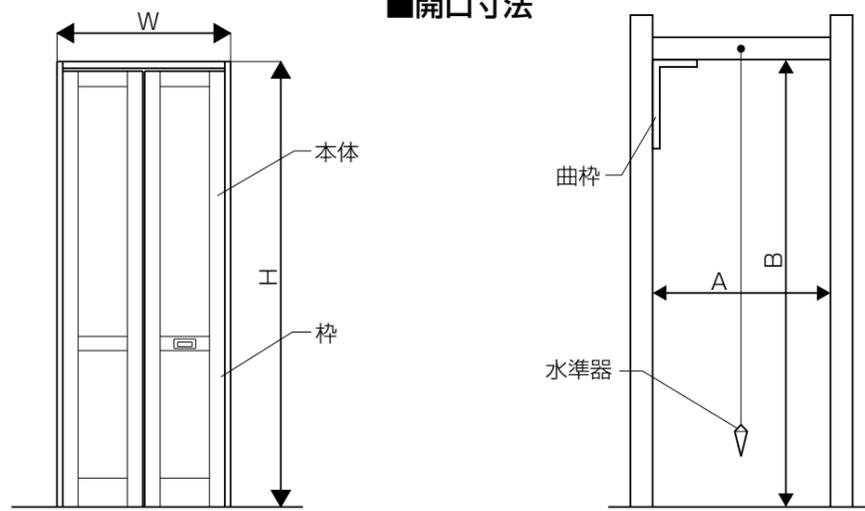
※予備用4本含む

■ 製品寸法表

■ 開口寸法表 (単位:mm)

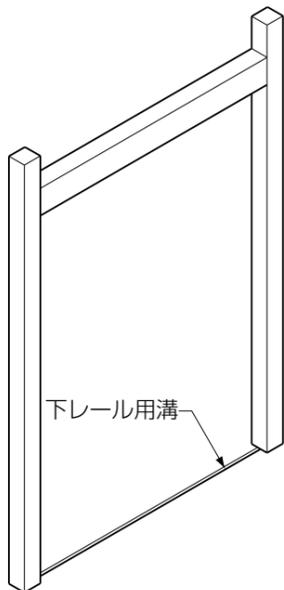
開口A寸法	W+5
開口B寸法	H+5

※開口H寸法は、床上面から梁(まぐさ)までの寸法を示す。
※本製品は上吊り方式のため、必ず本体重量に耐える断面寸法の梁(まぐさ)をご使用ください。(施工上のお願い参照)

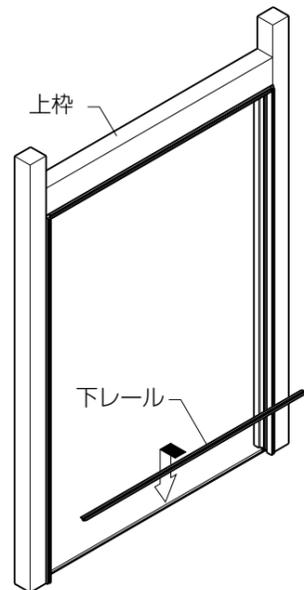


■ 取付け手順

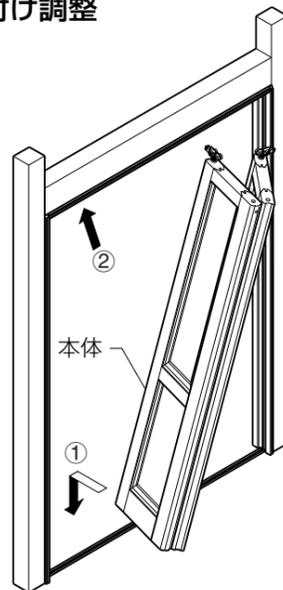
1 開口部の作成・床の施工



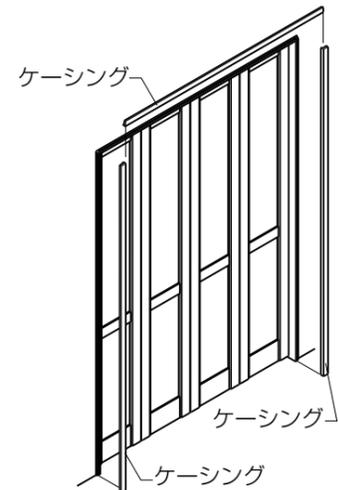
2 枠の組立て・取付け



3 本体の取付け
4 建付け調整



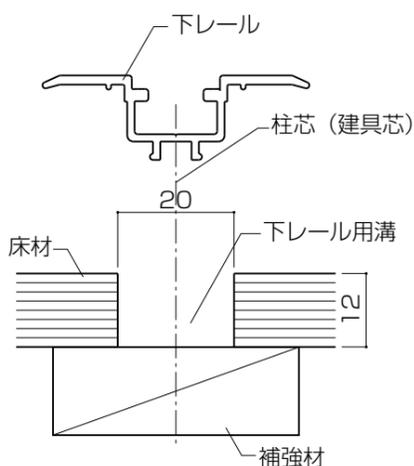
5 ケーシングの取付け
(ケーシング付きタイプ)



■ 取付け詳細

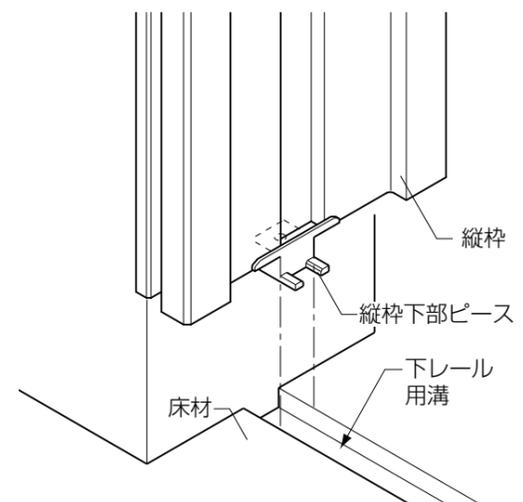
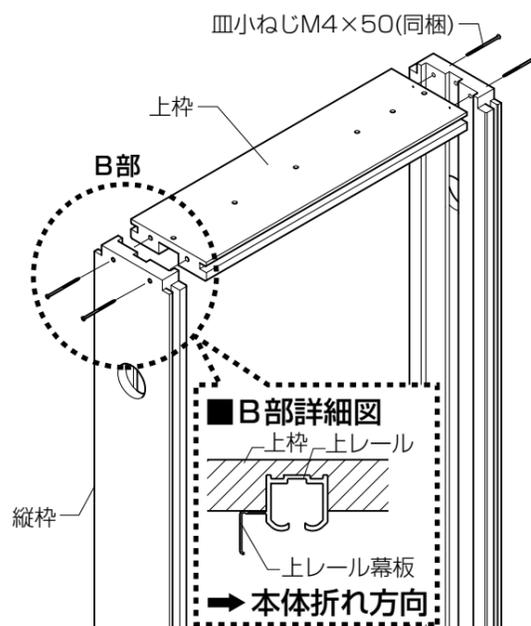
1 開口部の作成・床の施工

- ①製品寸法表から開口寸法を算出し、開口部を作成します。
- ②下レール用溝の加工位置を決めます。
※補強材が入っていることを確認してください。
- ③床を施工します。



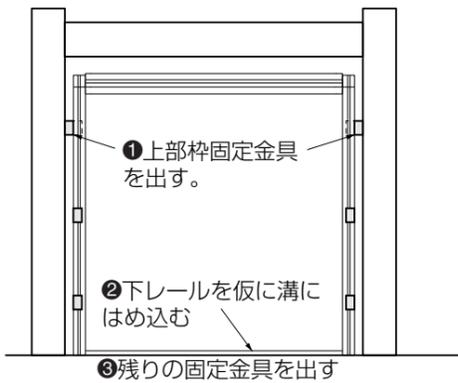
2 枠の組立て・取付け

- ①上枠と縦枠を組立てねじ(皿小ねじM4×50)で組立てます。
※上枠は、左右兼用で取付けられますが、本体折れ方向は上レール幕板の向きによって決まります。
- ②枠を開口部に入れ、縦枠下部ピースを床の下レール用溝にはめ込んで位置出しします。
※15mmの床材を使用する場合は、下地材(3mm厚)を下レール用溝に取付けてください。



③縦枠に取付けられている枠固定金具（縦枠に3個取付け）の調整ねじを時計回りに回し、金具を均等に出してください。

※上部枠固定金具を先に出し、仮固定させ、下レールを溝にはめ込んだ後、残りの枠固定金具を出してください。



④枠の垂直を確認してください。

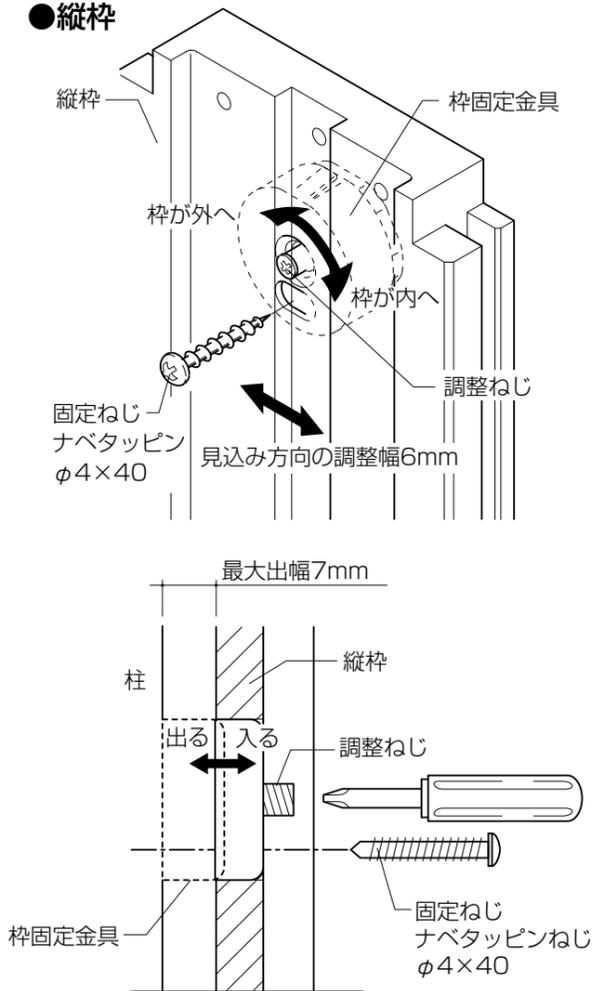
⑤固定ねじ（ナベタッピンねじφ4×40）を枠固定金具の長丸中央部分より締め付けてください。

⑥枠の奥行方向の倒れを確認してください。倒れている場合は固定ねじを緩め、枠を動かします。（奥行方向の調整幅は6mmです。）調整後、ねじで固定してください。

⑦枠の垂直を確認してから、枠固定金具の取り付け部分の開口寸法が均等になるように調整してください。

⑧再度、枠の垂直を確認してください。

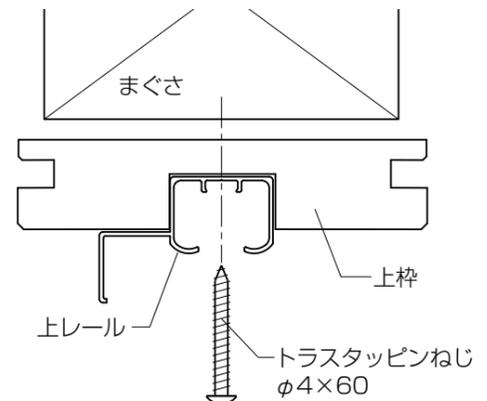
●縦枠



お願い

※枠固定金具の調整には、電動ドライバーを使用しないでください。
※必ず内装ボードは縦枠に突きあてて施工してください。突きあてができない場合は必ずかい木を入れてください。

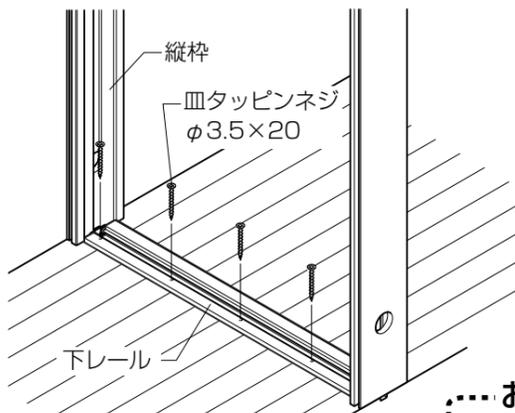
⑨上レールの穴から躯体にねじ止めします。



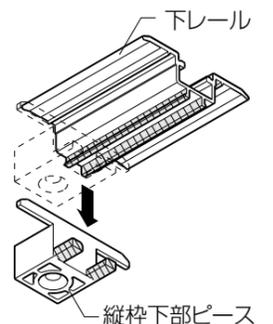
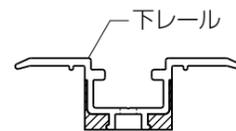
※ジョイントレール（短いレール）は後で本体を吊込みますので、ねじ止めしないでください。

⑩下レールの取付け

下レールをねじ（皿タッピンねじφ3.5×20）で固定します。この時、下レールと縦枠下部ピースをはめ込んでからねじ止めしてください。下レールの浮き上がりや本体開閉不具合の原因となります。

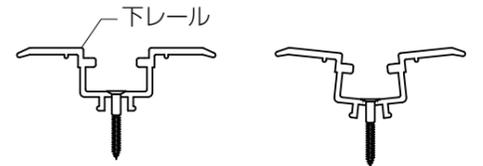


※下レールの足（斜線部）が縦枠下部ピースの足（斜線部）の間に下図のように入るように取付けてください。



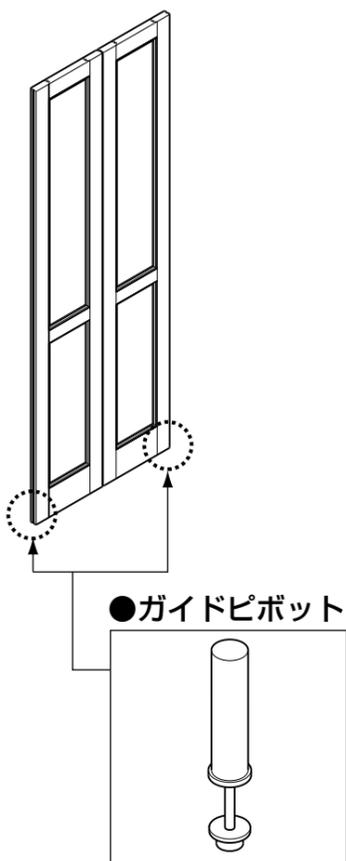
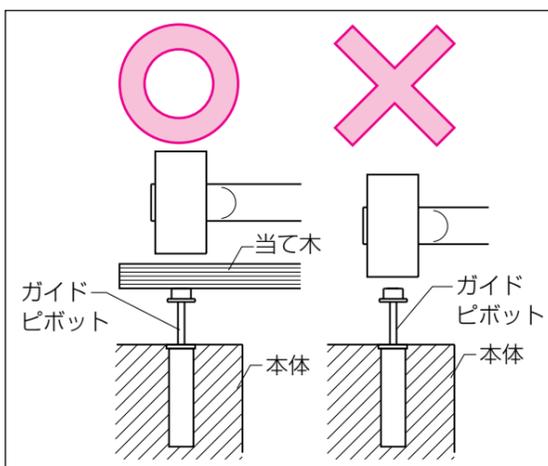
お願い

●下レールを取付けるねじは締めすぎないようにしてください。下レールが変形し、本体開閉の不具合の原因となります。

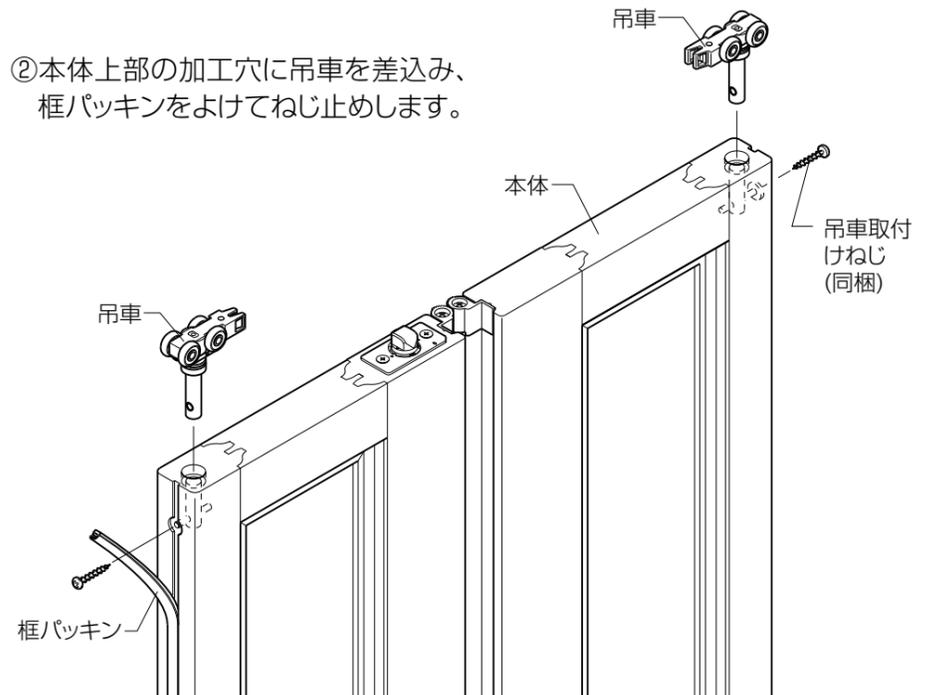


③ 本体の取付け

①ガイドピボットの樹脂部に当て木をし、本体下部の加工穴にたたき込みます。



②本体上部の加工穴に吊車を差込み、框パッキンをよけてねじ止めします。



▲注意

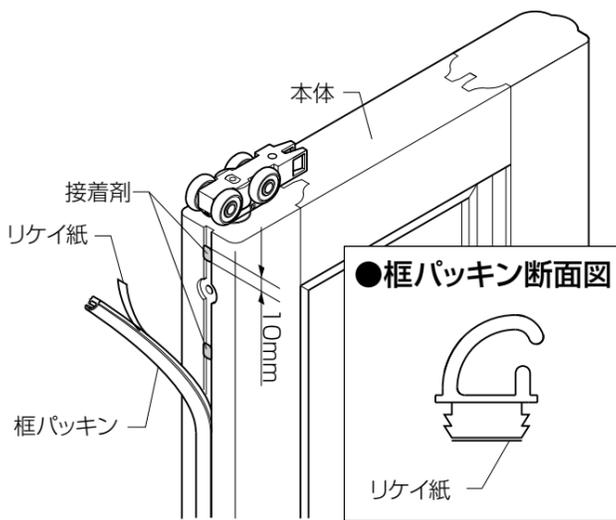
●吊車取付けねじの締め忘れ・ゆるみなどは、本体脱落の原因になりますので、ガタつきのないよう固定してください。

③ 框パッキン取付け部の先端と中間部(下図参照)に、接着剤(現場手配)を10mmほど塗布します。

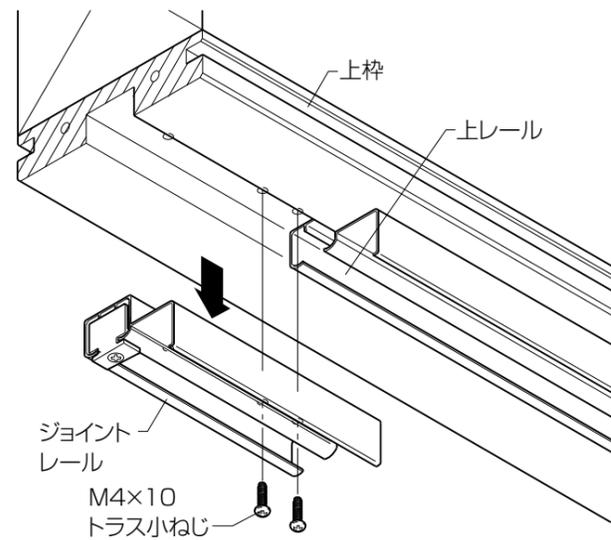
※はみ出さないよう塗布量を調整してください。

④ 框パッキンのリケイ紙をはがし、本体上部に張付けます。

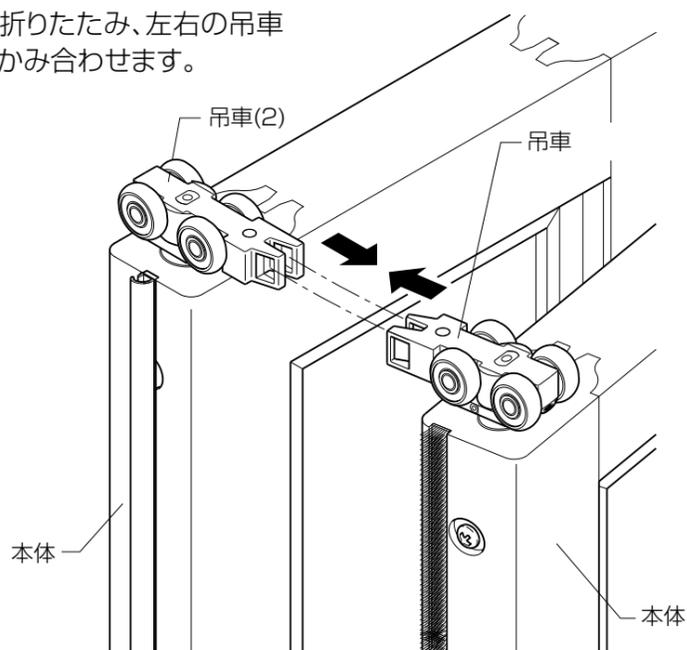
※必ずマスキングテープ等で仮固定し、接着剤が完全に固まるまで1日程度扉を閉めないでください。



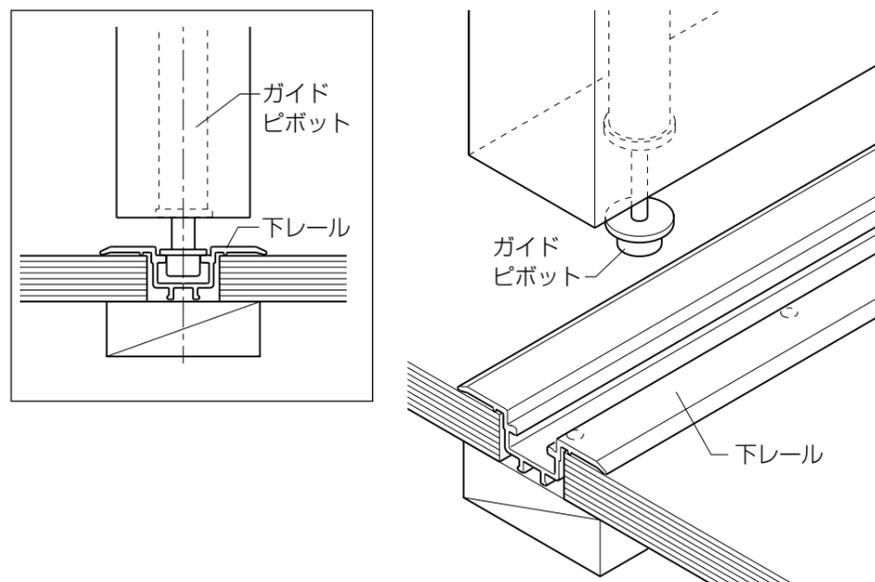
⑤ トラス小ねじを外し、上枠のジョイントレールを外します。



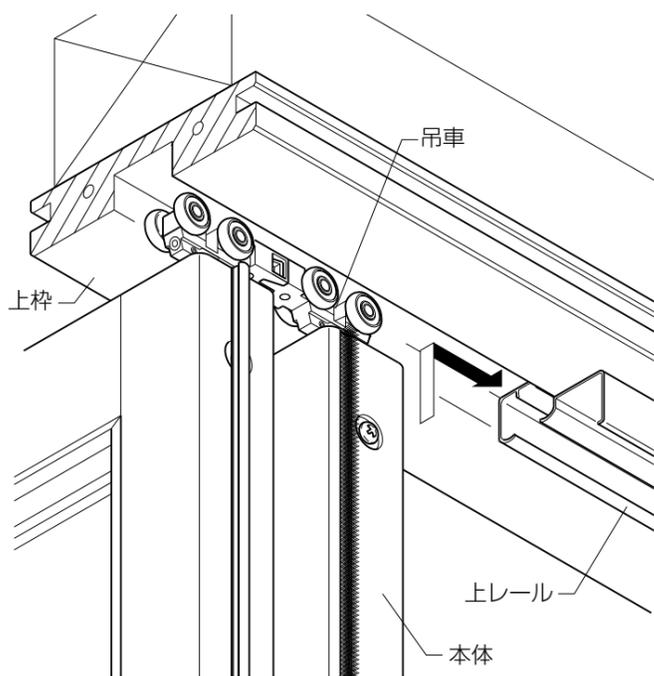
⑥ 本体を折りたたみ、左右の吊車同士をかみ合わせます。



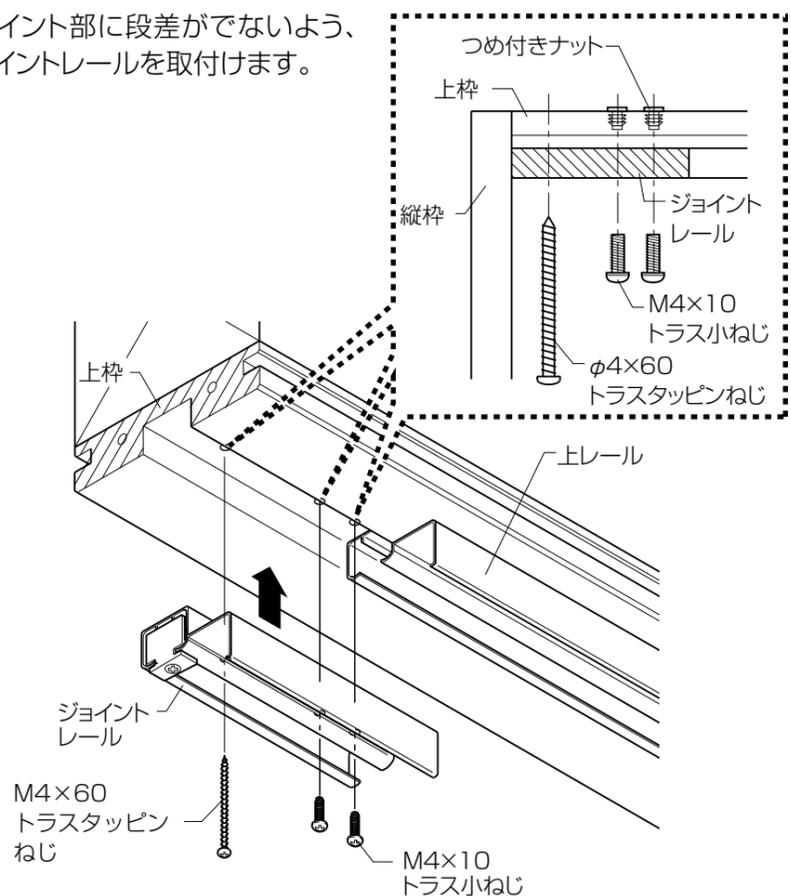
⑦ ガイドピボットを、下レールに差込みます。



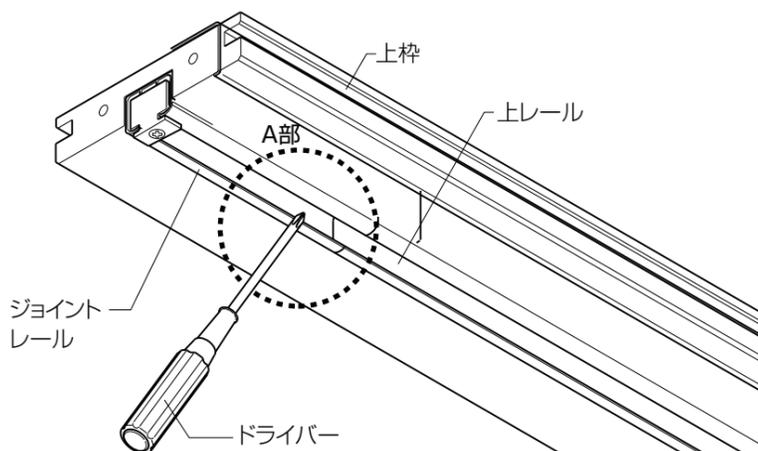
⑧ 上レール端から、吊車を差込みます。



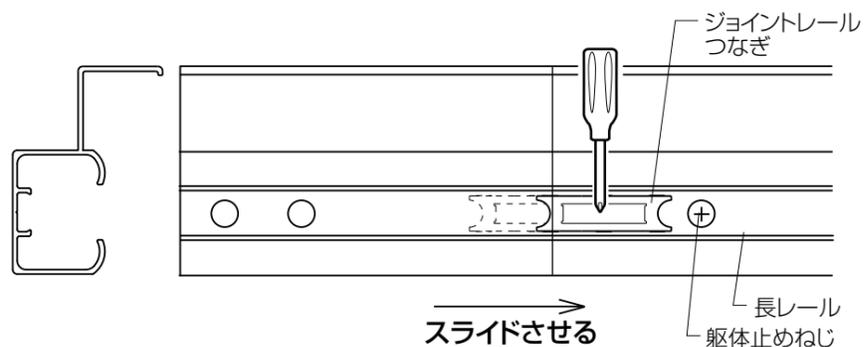
⑨ ジョイント部に段差がないよう、ジョイントレールを取付けます。



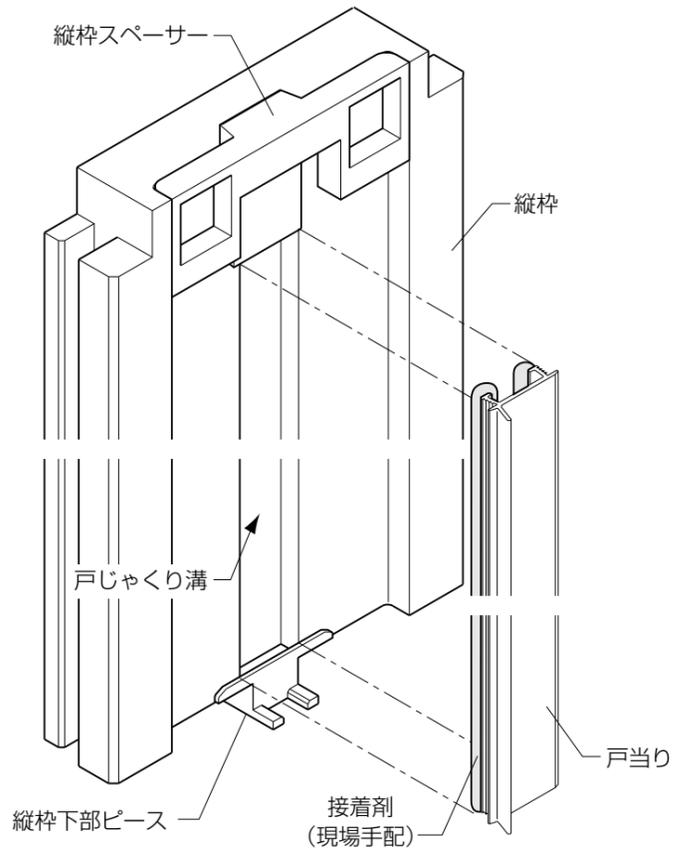
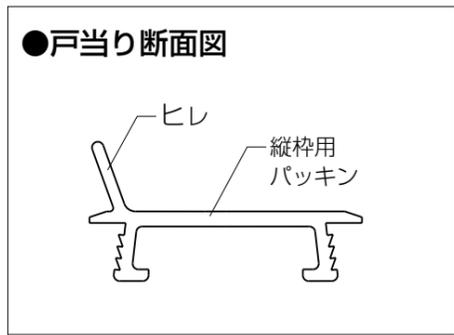
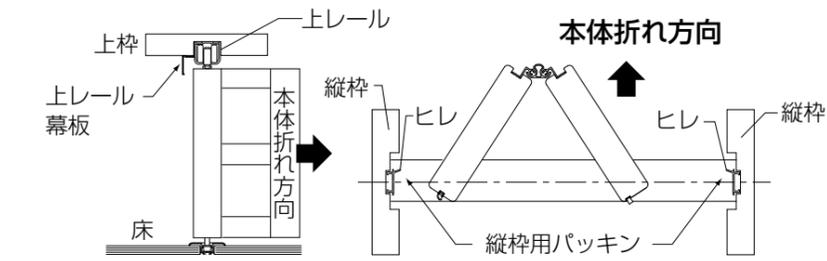
ジョイントレール取付け後、ズレ防止金具をスライドさせます。



※前後のズレを手で合わせ、+ドライバーでスライドさせます。



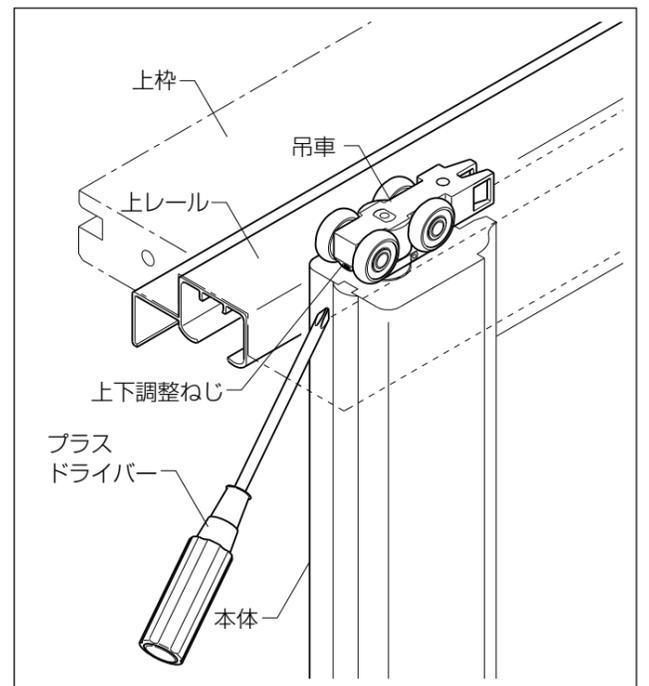
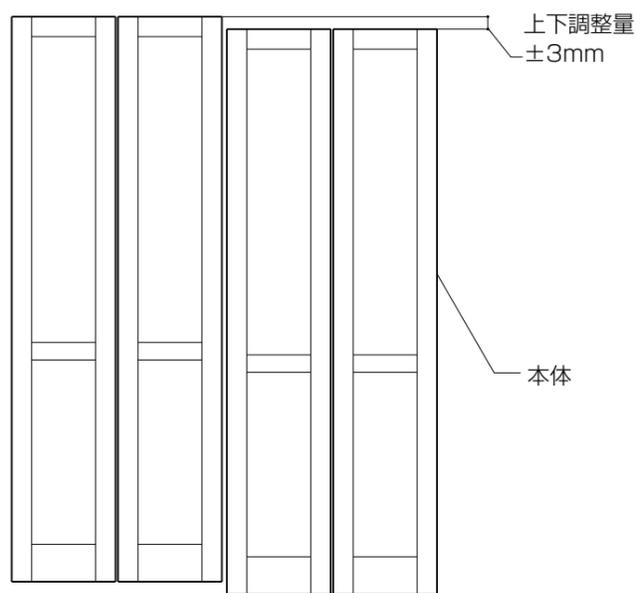
- ⑩戸当りに接着材(現場手配)をつけて下図に従い、本体の折れる方向にヒレを向けて取付けてください。
 ※ボンドがはみ出さないよう塗布量を調整してください。
 ※逆にすると本体の開閉に支障がでるため、必ず正しい向きにしてください。



4 建付け調整

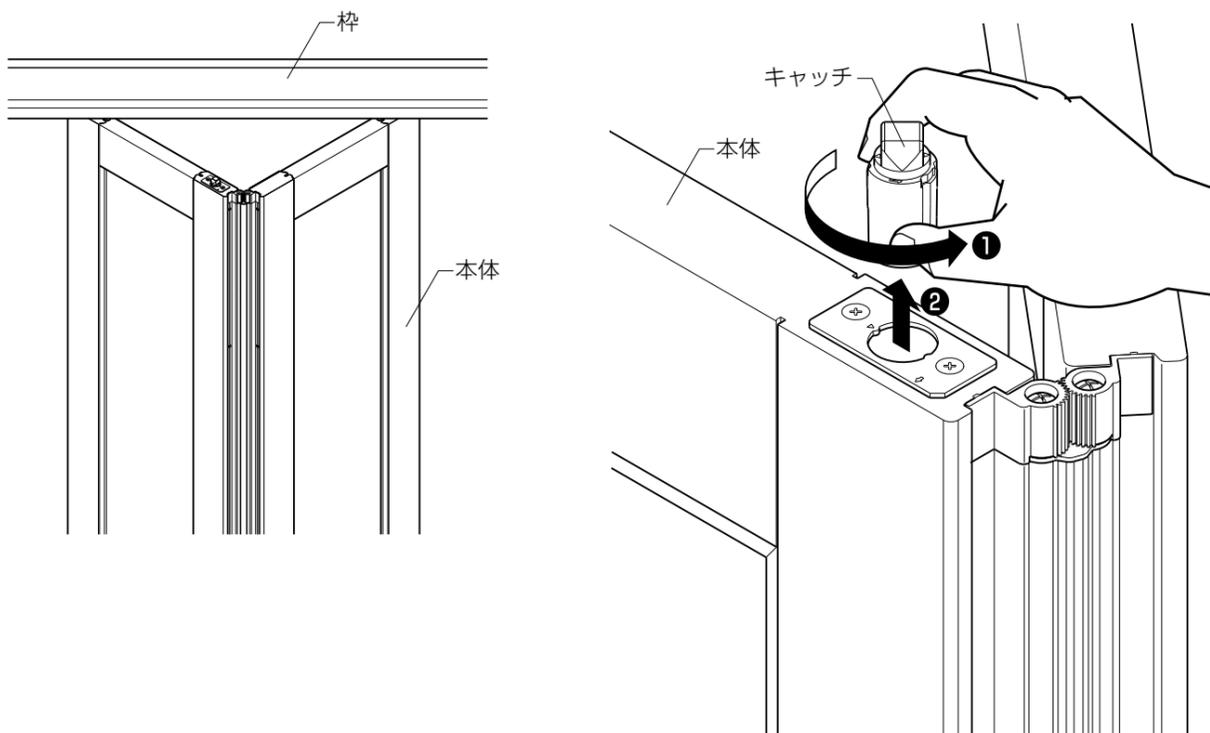
〈上下方向の調整〉

- 本体が段違いになった場合は、左右の吊車の上下調整ねじをドライバーで回して調整してください。



〈本体の振れ止め調整〉(キャッチの上下調整)

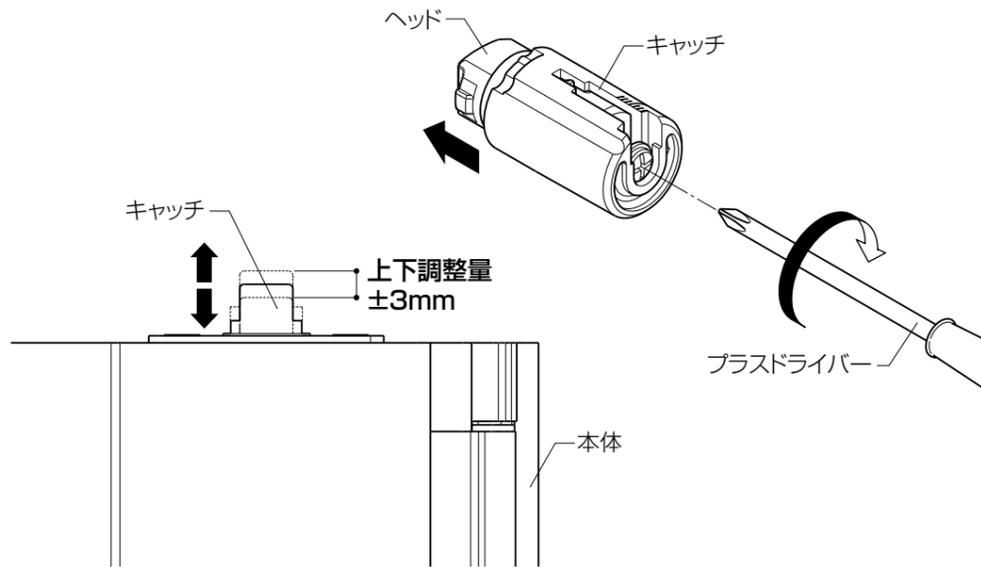
- ①本体を開けてください。
 ②キャッチのヘッドを左に回してロックを解除して、キャッチを上引き抜きます。



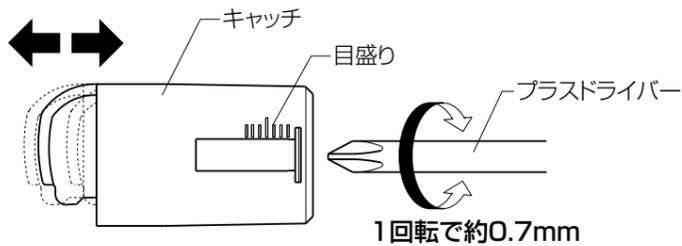
③キャッチ下面の調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。

※時計回りに回すとキャッチのヘッドが上がります。

●キャッチ力が弱いとき。	時計回り
●キャッチにガタツキがあるとき。	
●キャッチ力が強いとき。	反時計回り
●キャッチが上枠に当り、本体を閉める ことができないとき。	



※ねじ1回転で約0.7mm上下します。キャッチ側面の目盛りを目安にして調整してください。

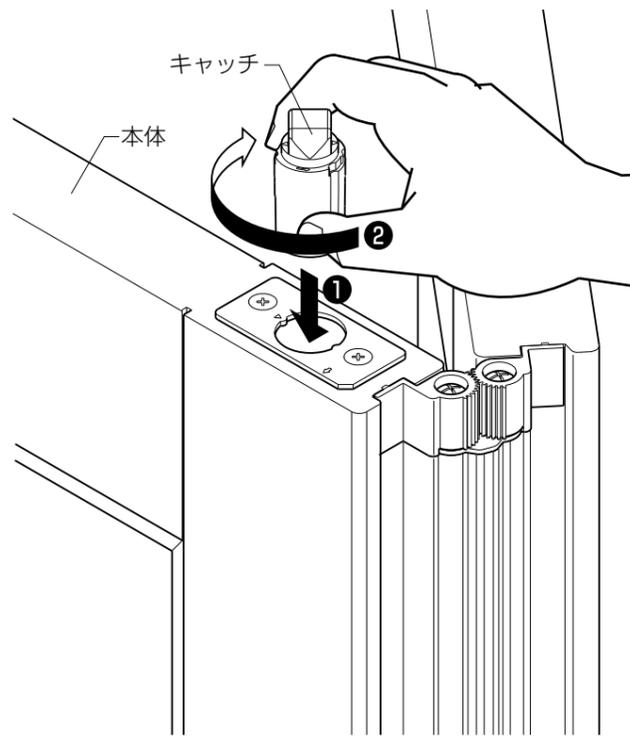


④キャッチを取付け穴に差し込み、キャッチのヘッドを右に回してロックしてください。

※ヘッド取付け向きの間違い防止のため、押え板の突起の位置がずれています。押え板の突起の位置とキャッチの切欠きの位置を合せて差し込んでください。

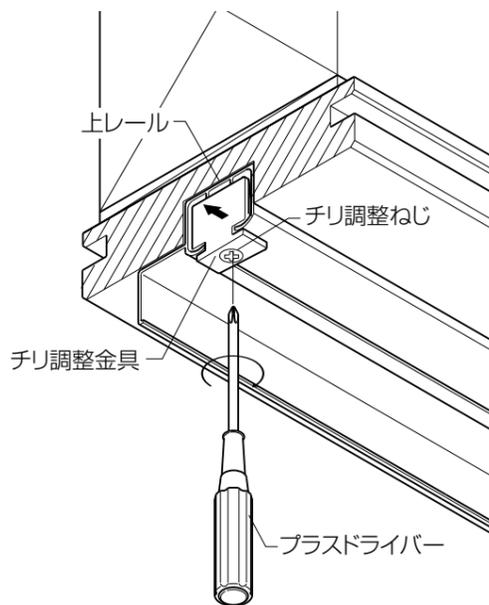
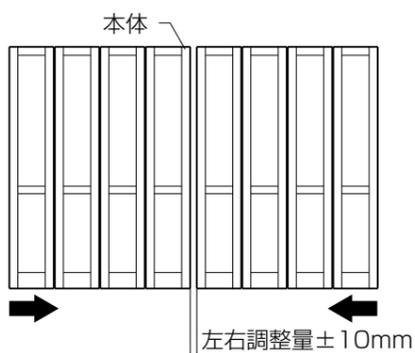
お願い
※必ず「カチッ」という手応えを感じるまで右に回してください。キャッチのロックが不完全な場合、キャッチが破損する可能性があります。

⑤本体を閉めて、キャッチの掛かりを確認してください。問題がある場合は、①～④の作業を繰り返してください。



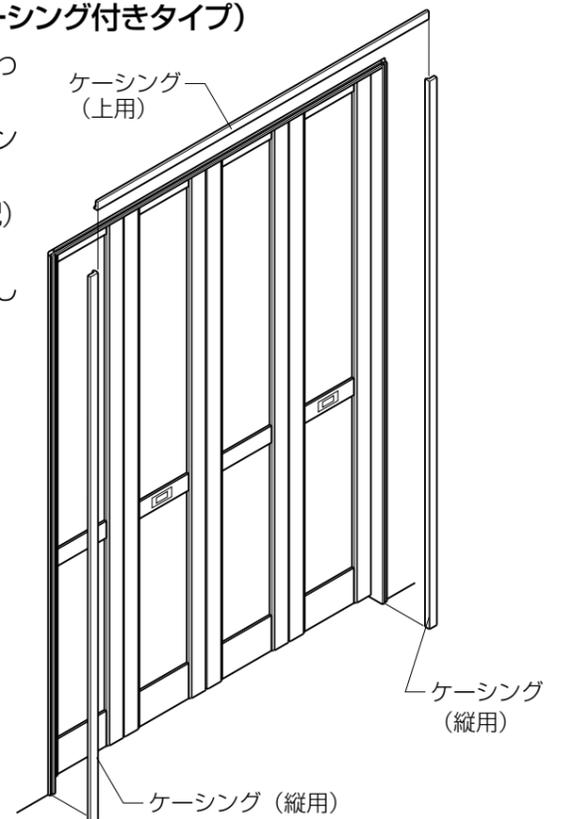
【左右方向の調整】

●本体間のチリが大きい場合は、上レール両端のチリ調整ねじをプラスドライバーで回して調整してください。右に回すとチリが小さくなります。



㊦ ケーシングの取付け (ケーシング付きタイプ)

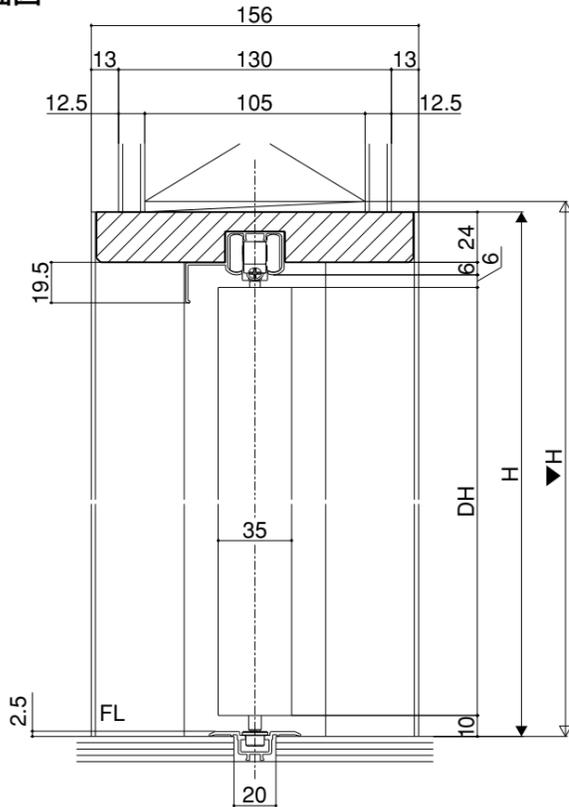
- ①ケーシングを現場寸法に合わせて切断します。
 - ②枠のケーシング溝へケーシングを差し込みます。
 - ③ケーシングを接着剤 (現場手配) で枠に固定します。
- ※仮止めする場合は、専用かくし釘をご使用ください。



■納まり図

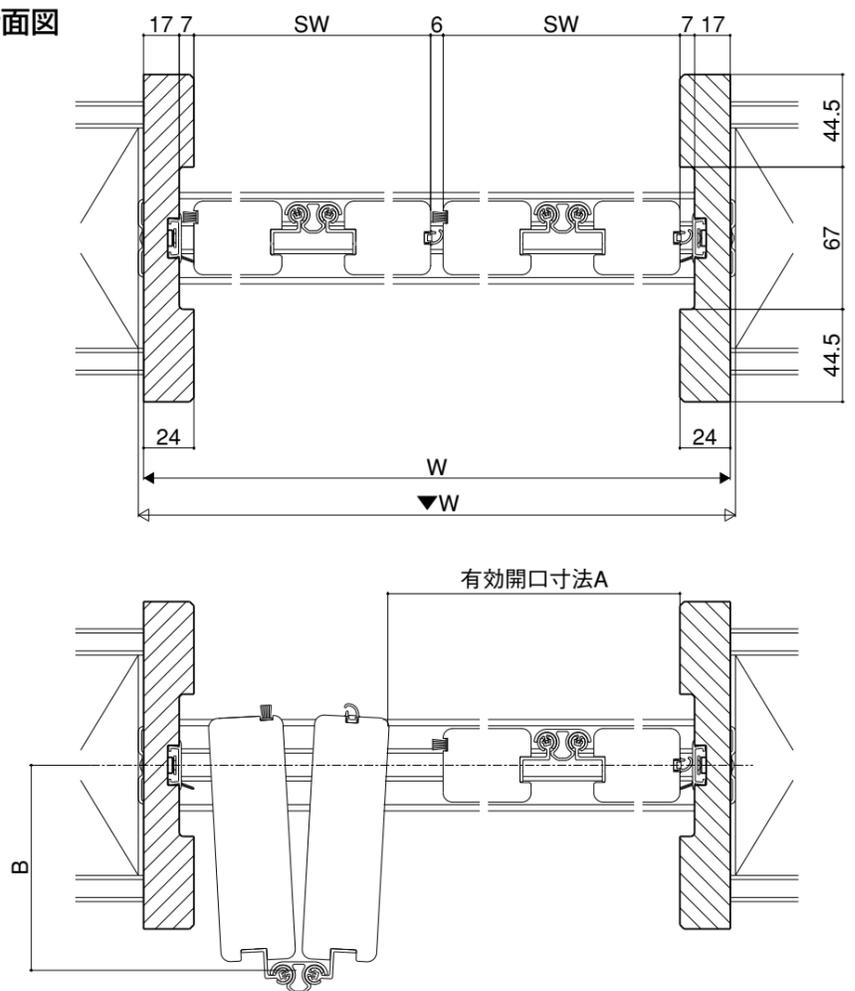
■可動間仕切り折れ戸ユニット ノンケーシング

●縦断面図



※枠見込み寸法が変わっても、下レールの位置は、縦枠センター位置となります。

●横断面図



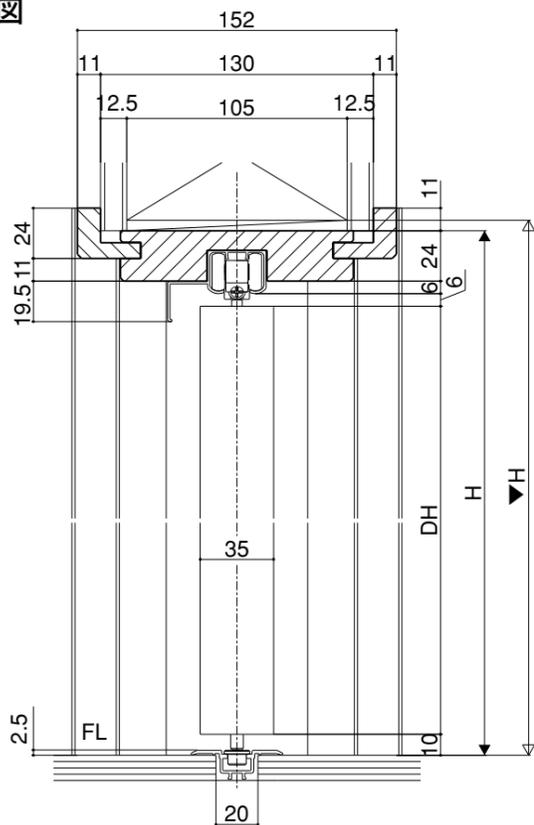
部材名称	NC156 枠幅寸法	NC171 枠幅寸法	NC180 枠幅寸法
上枠	151	166	175
縦枠	156	171	180
下レール	44	44	44

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	1369	375
W25(2550)	2161	392.5
W34(3386)	2882	392.5

基本寸法 (mm)	W呼称	16	25	34
	W(DW)	1644(795)	2550(830)	3386(830)
	H呼称	23	-	-
	H(DH)	2306(2260)	-	-

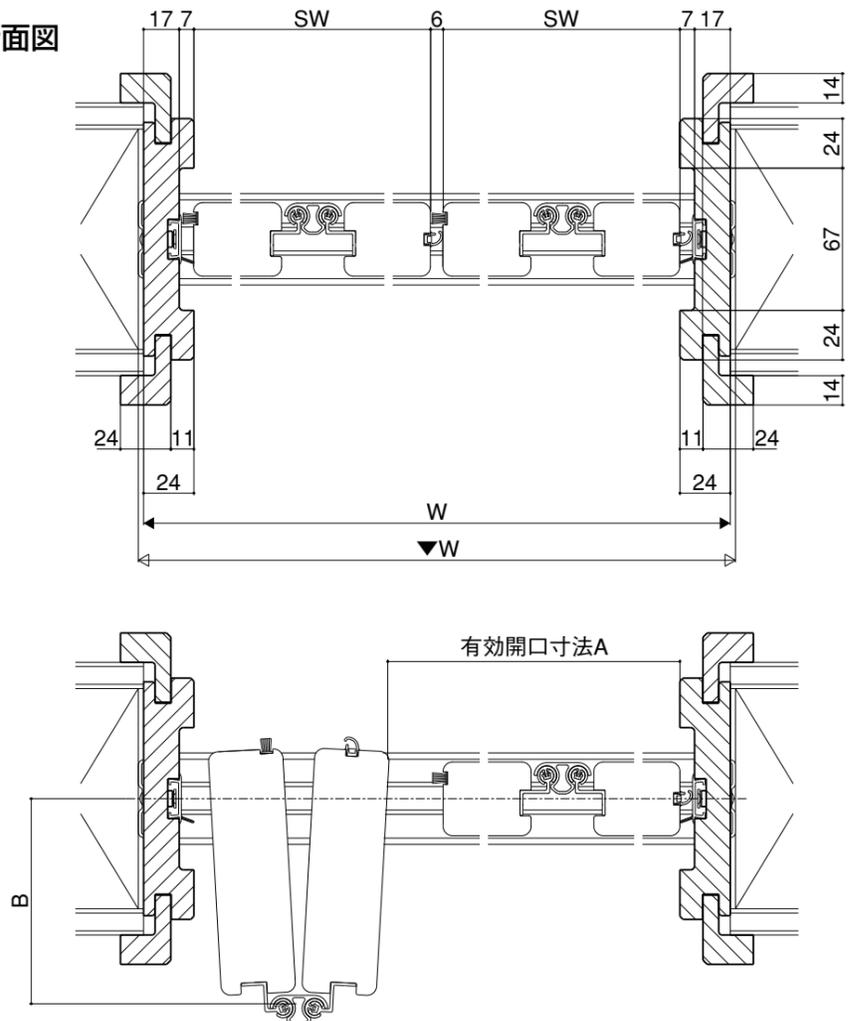
■可動間仕切り折れ戸ユニット ケーシング付

●縦断面図



※枠見込み寸法が変わっても、下レールの位置は、縦枠センター位置となります。

●横断面図



部材名称	薄壁用	厚壁用
	枠幅寸法	枠幅寸法
上枠	111	138
縦枠	115	142
下レール	44	44

W呼称(枠外寸法)	A寸法	B寸法
W16(1644)	1369	375
W24(2445)	2056	392.5
W34(3386)	2882	392.5

基本寸法 (mm)	W呼称	16	24	34
	W(DW)	1644(795)	2445(795)	3386(830)
	H呼称	23	-	-
	H(DH)	2306(2260)	-	-